

2017 孫基禎平和マラソン大会ツアーを実施して

3年がかりで準備をしてきた標記行事が今年ついに実現しました。わずか4名の小さな交流ツアーでしたが、次年度以降が楽しみになる成果もあげて帰国することができました。そこで寺島会長を団長、事務局をマネージャーとして実施した11月17日（金）～20日（月）のツアーの様子を記します。

まず大会の概要について述べましょう。大会趣旨は朝鮮半島が生んだ偉大なマラソンランナー孫基禎（1936年ベルリン五輪金メダリスト）の功績を称えると同時に、現在は南北に分断されている朝鮮半島の統一機運を高めようとするものであり、まさに壮大なコンセプトのもとで開催されています（孫基禎記念財団：李事務総長談話）。ベルリン五輪当時、朝鮮半島は日本の統治下に置かれていたため、孫基禎は自国の太極旗ではなく日の丸を付けて走らなければならず、また優勝したためにその後の行動に大きな制限を加えられた悲劇のランナーとして知られています。そして孫基禎記念財団設立と同時にその財団が主催者となり、2005年からソウルで毎年開催されています。種別は年度により少しは違いますが、近年の大会ではずっと5km、10km、ハーフマラソン、フルマラソンの4部門が実施されています。報告子は2015年大会から下見参加をしていましたが、2015年には記念財団の理事を務める黄永祚（1992年バルセロナ五輪マラソン金メダリスト）や李鳳柱（1996年アトランタ五輪マラソン銀メダリスト）も会場に顔を見せ大会を盛り上げていました。参加人数も各部門合わせると1万人以上となり、なかなかのビッグ大会です。

私たちのツアープログラムの柱は3つです。まずひとつ目は韓国人ランナーとの交流です。大会前日にソウルオリンピック公園で、地元の松坡区に拠点をもつランニングクラブの皆さんと合同朝練習を行いました。そしてレース後にはそのクラブの打上げパーティーにお邪魔させていただき、飲食をともにしながらさらに交流を深めることができました。やはりアルコールが入るとお互い緊張がほぐれ、それぞれ日本語・韓国語・英語で温かい交流の時間となりました。参加者のTさんはわざわざ日本からお土産を用意して、会場で配ってくれました。思いがけないプレゼントに韓国人ランナーも嬉しそうでした。



No.2

ふたつ目は孫基禎その人への理解を深め、その時代背景を知るという目的でソウル駅近くにある孫基禎記念館を訪問しました。館内には関連の貴重な資料がたくさん展示されており、案内ガイドの説明を同行の通訳を介して細かく聞くことができました。そこには孫選手が集めたベルリン五輪メダリストサイン帳もあり、懐かしい日本人メダリストの前畑秀子さん（水泳・平泳ぎ）や田島直人さん（陸上競技・三段跳）の直筆のサインを見ることもできました。まるでタイムマシンに乗り80年前にひとつ飛びしたような気分になりました。



三っ目はレースへの参加です。5 kmからフルマラソンまでバラエティに富んだ種目が用意されていますので、ランナーそれぞれの目的に合わせて参加できます。今回は5 kmに2名、ハーフマラソンに1名が参加しました。それぞれタイムや順位を気にする走りではなく、韓国でのランニングレースを楽しく体験するというスタンスでの参加となりました。寺島会長がツアー団長として開会式のステージ上で紹介されましたので、日本からわざわざ「スポーツと平和を考えるユネスコクラブ」という団体が参加していることが会場の韓国人に伝わったのではないかと思います。また、今回は孫基禎のご子息孫正寅さんやそのお嬢さんも会場に姿を見せ大きな拍手を浴びていました。

レース当日は真冬並みの寒波に見舞われ朝の最低気温は氷点下6度。8時半からそれぞれの種目ごとに5分刻みのスタートでしたので、レース中も氷点下のままで耐寒レースの趣となりました。報告子が走ったハーフマラソンでは、給水所で選手がこぼした水が凍り後続のランナーがスリップする光景が多数見られるほどでした。





このようなツアープログラムのためには現地支援者の存在が欠かせません。今回、ホテルの予約から大会エントリー業務・食事場所の予約・そして移動用ワゴン車の手配等々に関しては金宗洙氏（明治大学OBで寺島会長の教え子）にたいへんお世話になりました。そして地元ランニングクラブとの交流では、クラブの会員で日本語のとても上手な陳美淑氏の全面的な協力をいただきました。お二人にはこの場を借りて改めてお礼申し上げます。また、記念すべき第1回目のツアーにご参加いただいたお二人にも感謝申し上げ、実施報告記を閉じたいと思います。

なお、このツアーは来年度以降も継続予定ですので、この記事をご覧になって興味をもった方はぜひ事務局までお問合せ下さい。

2017孫基禎平和マラソンツアー日程表

日 時	食事	スケジュール	ホテル	備 考
11月17日 (金)	朝 ×	・航空券は各自手配、各自チェックイン	オリンピックパークテル 448,Olympic-ro, Songpa-gu (松坡区)	・築山さん、寺島団長、小林事務局 3名がチェックイン
	昼 ×			
	夕 ×			
11月18日 (土)	朝 ×	・現地ランニングクラブと合同早朝練習 (7:00~8:30オリンピック公園平和の門集合) ・10時ホテル発 金浦空港経由孫基禎記念館へ ・記念館見学 ・昼食は参加者で相談しながら一緒に 夕刻ホテル帰着	同上	・裴漢洙さんピックアップ ・裴漢洙さんがチェックイン ・場所は現地支援者金氏が手配、ナンバーカード配布など
	昼 ×			
	夕 ○			
11月19日 (日)	朝 ○	・朝食はホテルにて、朝食後ホテル発6:50 (タクシーにて競技場へ) 開会式 8時 ・スタート時刻 フル8:35, 5km8:40, ハーフ8:45 ・交流昼食会 (合同朝練習実施クラブと松坡区役所近くで) ・完走パーティー	同上	・荷物は地元ランニングクラブのテント内に ・競技場から会場までは地元クラブメンバーの案内で ・場所は金氏が手配
	昼 ○			
	夕 ○			
11月20日 (月)	朝 ×	・各自チェックアウト、解散		お疲れ様でした。お気をつけて！
	昼 ×			

※食事について○、×はツアー料金に含まれているか否かを示しています

※時刻の記入の無いものは、現地で相談しながら決定させていただきます